

SSA

発塵抑制型セメント系固化材

スーパー ソリッドエース



麻生セメント株式会社



発塵抑制型セメント系固化材

スーパーソリッドエース

スーパーソリッドエースはテフロン™ 処理した防塵固化材です。ソリッドエースに微量のテフロン™ を添加することで、粉体中にサブミクロン径の繊維を形成させて微粒子を捕捉します。これにより、粉体の発塵や飛散を抑制し、周辺環境の保全や作業環境が改善され、安心して施工できます。また、スーパーソリッドエースの施工性、改良効果などは、ソリッドエースと同等です。

■スーパーソリッドエース シリーズ

品 種	区 分	特 長
スーパーソリッドエース #200	テフロン™ 処理防塵 固化材 高有機質土用	ソリッドエース #200 をテフロン™ 処理し発塵を抑制した固化材です。高有機質土に適しています。
スーパーソリッドエース #400	テフロン™ 処理防塵 固化材 特殊土用	ソリッドエース #400 をテフロン™ 処理し発塵を抑制した固化材です。幅広い土質に適応した六価クロム溶出低減型固化材です。



テフロン™ 繊維の顕微鏡写真



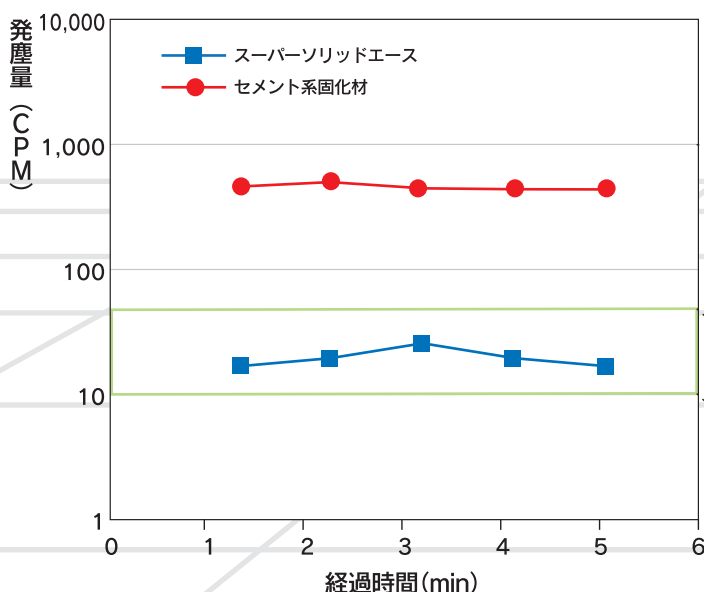
ソリッドエース



スーパーソリッドエース

落下による発塵状況の違い

●発塵量試験結果（目安）



〔発塵試験とは〕

円筒容器の頂部投入口より試料を自然落下させ、舞い上がる浮遊粉塵量を散乱光式デジタル粉塵計により測定するものです。

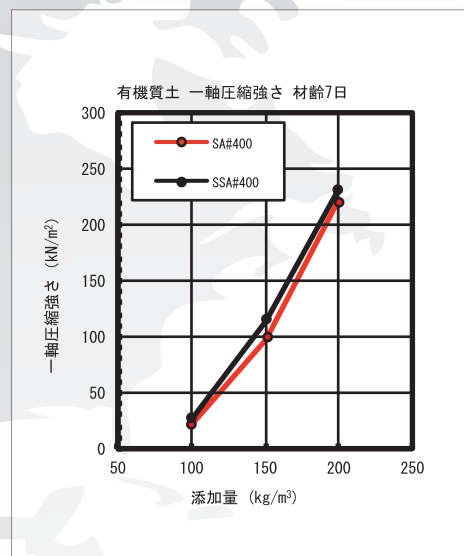
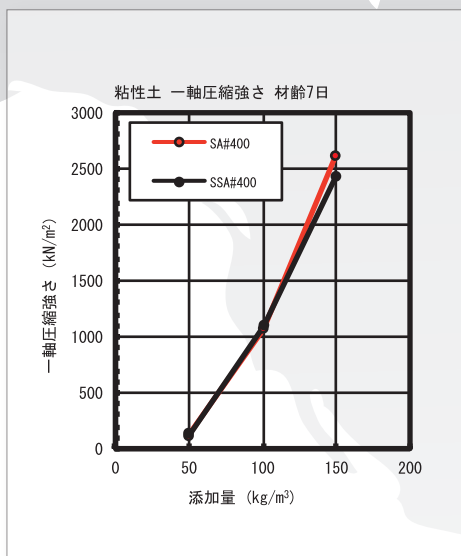
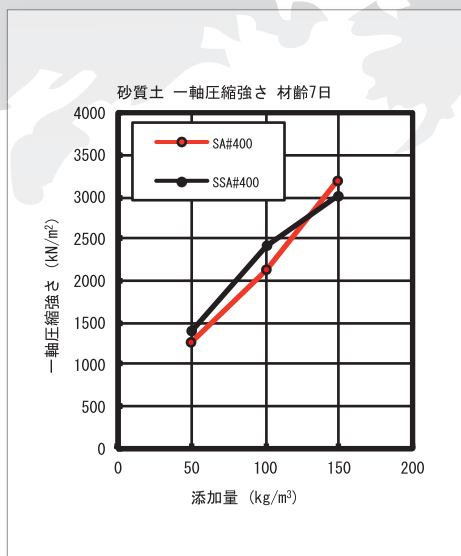
●発塵量と定性的評価

発塵量	定性的評価
1000～	安定処理工事においては粉塵で前方が透視困難
500～ 1000	埃気が激しくその場に居られない
200～ 500	畑における土埃
50～ 200	現場作業では殆ど埃を気にしない
10～ 50	比較的混雑した電車の中
～10	清浄な室内の状態

CPM: Count Per Minute

「テフロン™」は、ふっ素樹脂についての米国ケマーズ社 (The Chemours Company) の商標です。

■ベース固化材との強度比較



環境に優しく、作業現場を快適に

固化材散布状況

☐ ソリッドエース



☐ スーパーソリッドエース



スタビライザによる混合状況

☐ ソリッドエース



☐ スーパーソリッドエース



ソリッドエース取扱い上のお願い

1.使用上のお願い

- ①ソリッドエースは、地盤改良するためのセメント系固化材であり、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
- ②ソリッドエースと対象土の混合度合いは、改良効果に大きく影響しますので均一に混合してください。また、混合不良や過剰添加した場合に膨張を起こすことがありますので、適正な添加量でご使用ください。
- ③ソリッドエースをご使用の際は、必ず事前試験を行い、改良土からの六価クロム溶出量が土壤環境基準値以下であることをご確認ください。土壤環境基準値を超えた場合は使用しないでください。

2.安全衛生上のお願い

本製品の安全な取扱いについては、弊社ホームページの安全データシート(SDS)をご確認ください。

- ①ソリッドエースを直接、目、鼻、口に入れたり、皮膚に触れないようにしてください。
- ②ソリッドエースは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、皮膚、目、呼吸器などを刺激し、炎症を起こすことがあります。
- ③ソリッドエースが目、鼻、口に入ったり、皮膚に触れた場合は、すみやかに水で洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- ④ご使用に際しましては、防塵メガネ・防塵マスク・手袋などの保護具を着用して

ください。

- ⑤ソリッドエースには、極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合は、アレルギーが起こる可能性があります。

3.保管上のお願い

現場などで保管する場合は、水が浸入しないようにパレット敷きなどでかさ上げしてください(直接、地面に置かないでください)。また、雨が降る恐れがある場合は、ビニールシートなどで覆い、ロープで固定してください。

フレキシブルコンテナの取扱い上のお願い

1.吊上げ・吊下げの場合

吊ロープ、吊ベルトのフックは正しく掛け、片吊、急な吊上げ・吊下げ、横引きはしないでください。

2.排出する場合

吊上げたフレコンの下に入って開口作業をしないでください。また、開口部が地面にふれないよう吊上げ排出し、内容物は残らぬように全部排出してください。

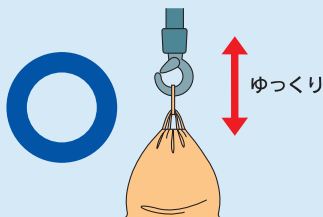
3.残材処理について

ご使用後のフレコンや残材は法律に基づき適切な処理をお願いいたします。

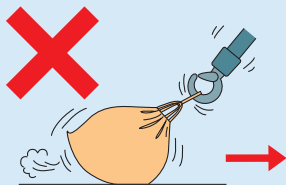
1.吊上げる場合



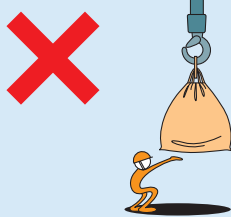
■吊ロープのフックを正しく掛け、片吊はやめてください。



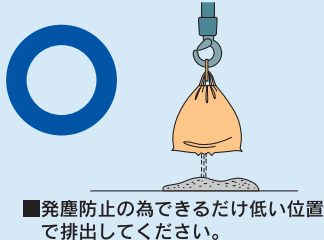
■急な吊上げ、吊下げ、横引きはしないでください。



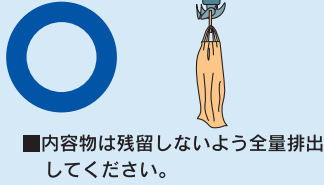
2.排出する場合



■吊上げたフレコンの下に入らないでください。

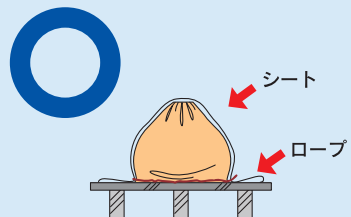


■発塵防止の為にできるだけ低い位置で排出してください。



■内容物は残留しないよう全量排出してください。

3.保管する場合



■仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。



麻生セメント株式会社

本 社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AI ビル 11F TEL092(833)5100 FAX092(833)5116
福 岡 支 店	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AI ビル 11F TEL092(833)5110 FAX092(833)5119
鹿児島営業所	〒891-0131 鹿児島市谷山港 2-26 TEL099(262)0777 FAX099(262)0779
大 阪 支 店	〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-5-13 創建御堂筋ビル 3F TEL06(6222)2211 FAX06(6222)2202
中 国 支 店	〒730-0037 広島市中区中町 7-22 住友生命平和大通りビル 4F TEL082(247)9447 FAX082(247)1968
四 国 支 店	〒760-0050 高松市亀井町 8-11 B-Z 高松プライムビル 5F TEL087(813)0295 FAX087(813)0251
荻田試験室	〒800-0311 福岡県京都郡荻田町長浜町 10 TEL093(435)1630 FAX093(435)1710
堺 試 験 室	〒592-0001 大阪府高石市高砂 2-8 TEL072(268)1639 FAX072(268)1406